



平成3年から続いている、友好交流都市・東京都杉並区との中学生交流会が3泊4日の日程で行われ、杉並区からは23人、名寄市からは9人の中学生が参加しました。

参加した中学生たちは、道立サンピラーパークでのカーリング、風連福祉センター前でのスノーキャンドル作りやイグルー作り体験などを通して、交流を深めました。杉並の中学生は、自然の美しさに感動したり雪に触れることを楽しんだり、名寄の中学生もイグルー作りを初めて経験するなど、冬の北海道を満喫している様子でした。

12/26 - 29 都会っ子交流事業 杉並区の中学生と交流

1/14 消防出初めで登梯 地域の安全安心を願って

迎えた新年が災害のない1年であることを願って、地域の安全安心を担う名寄消防団、名寄消防署など関係者が集い、消防出初め式が行われました。

出初め式の華となる登梯（とてい）では、山添慶雄さん、三瓶哲也さん、松下祐司さん、畑中憲一さんの4人が、8本のとび口で支える団員との息のあ

ったかけ声から「上大の字」「二本遠見」などの見事な技を高さ6メートルもあるはしごの上で披露しました。技が披露されるたびに会場に詰めかけた市民からも拍手と歓声が起こっていました。



1/8 新春こども書き初め広場 一筆ずつ丁寧に

市公民館主催の第35回新春こども書き初め広場が、市民文化センターで行われました。

今年は幼児から高校生まで44人、保護者など合わせて70人が参加しました。学年ごとに決められた課題や自由作品を、参加者は一筆ずつ丁寧に筆を運び、見事な作品を仕上げていました。作品は翌日9日から16日まで同センターに展示され、訪れた市民の目を楽しませていました。

